

## 白砂山山行報告

(山城) 志賀高原周辺

(コース) 野反湖～堂岩山～白砂山 ピストン

(登山方法) 雪山登山

(日時・天候) H28年4月24日(日)～4月25日(月) 曇り、ガス後時々晴れ

(参加者) CL鈴木憲二 鈴木愛子(記録)

(山行タイム)

4/24(日) 千葉⇒渋川⇒野反湖(車中泊)

4/25(月) 野反湖登山口 5:30⇒地蔵峠 6:20⇒堂岩山 8:35 着 8:50 発⇒白砂山 10:35 着 10:50 発  
⇒堂岩山 12:15 着 12:25 発⇒地蔵峠 14:05 着 14:15 発⇒野反湖登山口 14:55 着⇒  
日帰り温泉(道の駅 六合)⇒帰葉 23:00 頃

(山行報告)

4/24(日) 天気 曇り

野反湖の白砂山登山口で車中泊

夜、霧雨 明日の天候が気になりながら眠る。

4/25(月) 天気 曇り ガス 後 時々晴れ

曇り、ガスっている中、5:30 出発。

ネットの2009年に白砂山に登った人の記録によると、登山口のすぐ上から雪が真っ白にあるのに、今日は雪が何もない。

昨日、駐車場近くのキャンプ場の管理人の話によると、雪は例年の半分だそうである。

家を出る前は、冬道を登る予定で来たが、その人が、雪がないので夏道を行った方が良いとの事で夏道を登る。登山口より20分位だったか歩いて、ハンノキ沢に下り、2回渡渉した。水量は少なく飛び石を渡り、靴を濡らさず渡渉出来た。渡渉して登り始めすぐの所に、ショウジョウバカマが数本咲いていて、とても可愛かった。

まず地蔵峠を目指して、ダケカンバや針葉樹の森の中を歩く。春はまだまだ先でダケカンバは新芽も出ていなかった。

地蔵峠に着いても、全然雪はない。祠があり、その中にお釈迦様らしき石仏が座っていた。手を合わせ、登山の無事をお願いした。



ハンノキ沢近くのショウジョウバカマ



地蔵峠のお釈迦様

更に歩みを進めると、標高 1750m位から所々雪道となってきた。「堂岩山まで、あと 2 キロ」という標識から上はずっと雪道であった。雪は腐っていてアイゼンなしで歩けた。

トレースがあり、それを辿って歩き、地蔵山のピークには行かず、堂岩山を目指す。堂岩山着 8:35。頂上の標識は 1 m 位、雪に埋まっていた。ネットの記録では、360 度の展望と書いてあったが、周りに木々があり、展望は良くなかった。もう少し頂上の周りを歩いてみたら、展望の良い所があったのか……？



堂岩山の頂上にて



稜線からの八十三山

そこから白砂山を目指す、ルートがよく分からない。昨日、来たであろう人も白砂山へのルートが分からなかった様で、足跡が迷っていた。ヤブの前で足跡が消えていたので、私達もヤブに入る。背丈を超える深い笹とハイマツのヤブ。立ち止まり、GPSで現在地を確認し、白砂山方向へ進む。10分位歩いたら、右手に白砂山への登山道を発見。白砂山への稜線で、歩きやすく、一安心。その頃はガスがきれて、晴れではないが、目指す白砂山、苗場山、昨年歩いた岩菅山から切明温泉までの長い稜線、佐武流山、鳥甲山、等々が見え、嬉しかった。すぐ近くの八十三山、大倉山の斜面が雪と針葉樹のコントラストがとても綺麗であった。

これが晴れて青空が見えれば、もっと快適な稜線歩きだったろうに……。

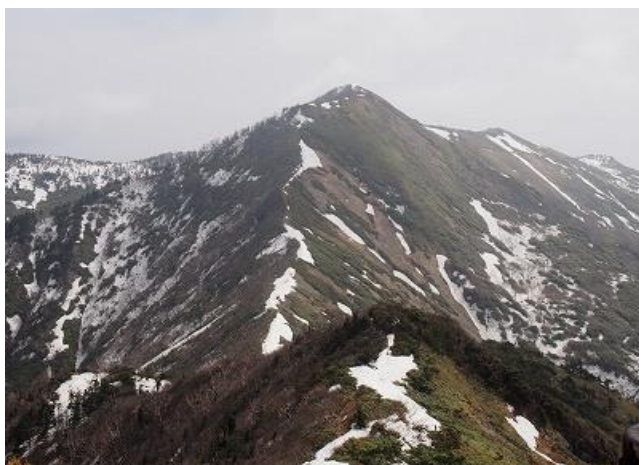
アップダウンを繰り返し、二つのピークを越し、やっと白砂山頂上へ 10:35 到着。

堂岩山から白砂山間も、雪がある所とない所とあり、雪は腐っていてアイゼンなしでOKであった。

(今回の山行中、アイゼンは一度も使わずにすんだ)

白砂山の頂上も標識は 1 m 位、雪に埋まっていた。

頂上は 360 度の展望。晴れではないのが残念。岩菅山、苗場山、鳥甲山、佐武流山などは良く見えたが、南側は曇っていて良く見えなかった。



稜線からの白砂山の手前のピーク



白砂山の頂上にて





白砂山頂上からの苗場山



頂上からの佐武流山

しばし眺めを楽しんだ後、往路を下山。

下山の時の方が、雪がゆるみ、時々、足がズボッと雪の中に膝やももまで潜ってしまい、難儀した。登山口 14:55 着。長かった。休憩入れて、約9時間半、よく歩いた。

登山口の駐車場の周りに、ふきのとうが沢山出ていて、ちょっと開き気味であったが、摘んで持ち帰る。翌日、てんぷらと茹でて甘みそ和えにして食べたら美味しかった。

道の駅 六合の日帰り温泉に入り、帰葉。

そんなに大きな温泉ではなかったですが、かけ流し温泉で乳白色の湯で、汗を流すには十分。ヤマヤには、400円と安くお勧めです。

今回の山行を終えて

行きも帰りも、月曜日であったせいもあるが、一人も会わず、静かな山歩きが出来、良かった。

今年はどここの山も雪が少ないと聞いていたので、白砂山も少ないだろうなと思った。

地蔵峠に着いても雪がなく、がっかりと思いながら歩いた。でも、標高1700m位から上は、まだ雪が沢山あり、十分、残雪の山歩きを楽しめ良かった。

白砂山への稜線から眺めた八十三山、大倉山に、いつか残雪の時に登ってみたいと思った。